

2021年度 中学校指導目標

- I. 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成します
- II. 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力の最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成します

1. まわりに喜びと光をまく人になるための実践

- ボランティア活動や行事での活動を通して協働力を身に付け、奉仕の精神を培う機会を作ります。
- 周囲の状況を見て、「今、何をすべきか」を自分で考え、行動できる力を育成します。

2. 基本的な生活習慣の確立と自分の意思をきちんと伝える能力の育成

- 基本的な生活習慣（あいさつ、場に応じた話し方、態度）ができる力を育成します。
- 朝のスピーチや、総合の発表など人前で自分の意見を発表する場を設け、自己表現力、プレゼンテーション能力を育成します。
- 生徒主体による話し合い活動を通してコミュニケーション能力を養い、過去の反省からの改善点を自分たちで考え、解決していく実践力を育成します。

3. 一人ひとりを大切にすきめ細やかな指導

- 生活指導、学習指導、進路指導など生徒一人ひとりに応じた個別の指導を担当だけでなく、中学校スタッフ全員で実施します。
- 生徒の声に耳を傾け、指導にあたっては、教師側は「待つ心」を忘れないようにする。生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばす指導を行います。
- 保護者との連携を密にとり、信頼関係を築きます。
- スクールカウンセラーとの連携を図り、指導に活かします。

4. 基礎学力の定着と学力向上へ向けての実践

- 担任と教科担当者との連携を密にし、宿題や学習状況などを把握し、提出物の遅れ等がないように指導を行います。
- 個々の学力に応じ、学力を伸ばす指導をし、必要に応じて補習や個別指導を実施します。
- 英検、漢検、数検などの検定試験に積極的に挑戦させ、得意分野を向上させます。
- ICT 機器を効果的に活用し、生徒自身が学習に興味を持ち、主体的に学ぶような指導の工夫を行います。

5. 学校行事への参加、校友会活動の工夫

- 学校行事への参加の仕方について生徒自身に考えさせ主体的に活動できるようにします。
- 中学校独自の校友会活動を工夫し、実践できるようにします。
- 高校との連携を図り、活動の幅を広げます。
- 国際交流の場を設け、積極的にコミュニケーションがとれるようにします。